

令和6年度島根県公立学校教員採用候補者選考試験問題

商業実技

1 / 5 枚中

実技試験要項

- (1) 制限時間は50分とし、「はじめ」の合図で開始、「やめ」の合図で終了する。
- (2) 試験委員の指示で、画面にあるエクセル形式のファイル名「解答.xlsx」を開き、シート名「表紙」の連結セルB9～D9に受験番号を入力せよ。受験番号入力後、「解答○○○○○○.xlsx」（○○○○○○は受験番号）のファイル名で、指示されたフォルダに「名前をつけて保存」せよ。なお、試験時間中にこまめに上書き保存すること。
- (3) 問題文にしたがって、各シートを作成せよ。なお、作業のためにシートの追加は行ってもよい。
- (4) 試験終了後、試験員の指示で「上書き保存」せよ。

※指示があるまで2枚目以降を見ないこと。

令和6年度島根県公立学校教員採用候補者選考試験問題

商業実技

2 / 5 枚中

第1問題 シート名「第1問題」は、ある店舗の財政状態と、それをもとに作成した貸借対照表を表したものである。

「①売掛金期末残高の計算」から「④合計金額の計算」は、ボタンにより関数や計算式が設定されるマクロを記述してあるが、一部のプログラムには誤りがある。

後の【条件】から、貸借対照表を作成するためのマクロの誤りを修正し、正しい貸借対照表を完成させよ。

シート名「第1問題」		A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	資産	期末残高								
2	現金	282,500								
3	当座預金	375,000								
4	売掛金	220,000	① 売掛金期末残高の計算							
5	貸倒引当金	4,400								
6	商品	108,000	② 備品期末残高の計算							
7	前払保険料	10,500								
8	未収手数料	11,000	③ 期末残高の割り当て							
9	備品	400,000								
10	減価償却累計額	320,000								
11	土地	1,860,000	④ 合計金額の計算							
12	買掛金	280,000								
13	社会保険料預り金	12,000	⑤ クリア							
14	未払家賃	10,000								
15	未払法人税等	78,000								
16	資本金	1,600,000								
17	繰越利益剰余金	962,600								

  

貸借対照表			
資産	金額	負債及び純資産	金額
現金	282,500	買掛金	280,000
当座預金	375,000	社会保険料預り金	12,000
売掛金	220,000	未払家賃	10,000
貸倒引当金	4,400	未払法人税等	78,000
商品	108,000	資本金	1,600,000
前払保険料	10,500	繰越利益剰余金	962,600
未収手数料	11,000		
備品	400,000		
減価償却累計額	320,000		
土地	1,860,000		
	2,942,600		2,942,600

【条件】

- ・シート名「第1問題」の貸借対照表に入力されている金額は正しい金額を示している。
- ・現在作成済みのマクロは一部に誤りがある。
- ・貸借対照表の金額欄は、入力済みのマクロを修正して求めること。
- ・セルに入力してある計算式は、確認しても良い。しかし直接修正してはならない。

令和6年度島根県公立学校教員採用候補者選考試験問題

商業実技

3 / 5 枚中

第2問題 シート名「第2問題」は、運賃表である。セルC11に「発駅名」と、セルC12に「着駅名」を入力すると、セルC13に「運賃」が表示されるようにするため、セルC11とセルC12に駅名でプルダウンリストを設定し、セルC13に適切な計算式を入力せよ。

シート名「第2問題」								
	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		運賃表						
3		駅名	出雲温泉駅	出雲パーク駅	宍道湖畔駅	松江薬師駅	美術館前駅	島根松江駅
4	発 駅	出雲温泉駅	0	150	300	450	600	750
5		出雲パーク駅	150	0	150	300	450	600
6		宍道湖畔駅	300	150	0	150	300	450
7		松江薬師駅	450	300	150	0	150	300
8		美術館前駅	600	450	300	150	0	150
9		島根松江駅	750	600	450	300	150	0
10								
11		発駅名						
12		着駅名						
13		運賃						

令和6年度島根県公立学校教員採用候補者選考試験問題

商業実技

4 / 5 枚中

第3問題 シート名「第3問題」は、ある商品の売上数予測である。セルF4「予測売上数」は、売上データとセルF3「予想最高気温」をもとに求める。ただし、売上データの「最高気温」と「売上数」は相関関係が認められるものとする。

セルF3「予想最高気温」に25~40の範囲で任意の整数を入力するものとし、セルF4に適切な計算式を入力せよ。

シート名「第3問題」							
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	売上データ				売上数予測		
3	日付	最高気温	売上数		予想最高気温		
4	6月1日	25	1,245		予測売上数		
5	6月2日	26	1,301				
6	6月3日	24	1,215				
7	6月4日	22	1,186				
8	}	}	}				
28	6月25日	28	1,437				
29	6月26日	29	1,458				
30	6月27日	32	1,685				
31	6月28日	30	1,472				
32	6月29日	31	1,567				
33	6月30日	33	1,708				

令和6年度島根県公立学校教員採用候補者選考試験問題

商業実技

5 / 5 枚中

第4問題 シート名「第4問題」は、ある企業の最適発注量を求める表及びグラフである。月間需要数が200,000個、1回当たりの発注費用が30,000円、1個当たりの保管費用が30円の場合、次の【指示】1から3について、後の【条件】に従い表及びグラフを完成させよ。

【指示】

1. 「総費用計算表」における「発注回数」がセルA8~A18の値である場合の「発注費用」、「発注数」、「保管費用」、「総費用」をそれぞれ求めよ。
2. 「総費用の最小」、「最適発注量」、「最適発注回数」を求めよ。
3. 「最適発注量」のグラフを作成せよ。

【条件】

1. 総費用、発注費用及び保管費用は以下の式で求めるものとする。なお、発注量の半分を「平均在庫数」とする。  
 総費用 = 発注費用 + 保管費用  
 発注費用 = 発注回数 × 1回当たりの発注費用  
 保管費用 = 平均在庫数 × 1個当たりの保管費用
2. 総費用の最小、最適発注量、最適発注回数は、次の値を表示するものとする。  
 総費用の最小は、総費用計算表の総費用の列から関数を用いて最小の数値を表示する。  
 最適発注量は、総費用の最小（セルC20）を参照し、関数を用いて総費用計算表の発注数の数値を参照して表示する。  
 最適発注回数は、総費用の最小（セルC20）を参照し、関数を用いて総費用計算表の発注回数  
 の数値を参照して表示する。

シート名「第4問題」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2	月間需要数(個)		200,000										
3	発注費用(円/回)		30,000										
4	保管費用(円/個)		30										
5													
6	総費用計算表												
7	発注回数	発注費用	発注数	保管費用	総費用								
8	1	30,000	200,000	3,000,000	3,030,000								
9	2												
10	4												
11	5												
12	8												
13	10												
14	20												
15	25												
16	40												
17	50												
18	100												
19													
20	総費用の最小												
21	最適発注量												
22	最適発注回数												

  

発注回数	発注費用	保管費用	総費用
1	30,000	3,000,000	3,030,000
2	60,000	1,500,000	1,560,000
4	120,000	750,000	870,000
5	150,000	600,000	750,000
8	240,000	375,000	615,000
10	300,000	300,000	600,000
20	600,000	150,000	750,000
25	750,000	120,000	870,000
40	1,200,000	75,000	1,275,000
50	1,500,000	60,000	1,560,000
100	3,000,000	30,000	3,030,000